

【別紙】コンテスト部門詳細

モデリング部門

課題内容：トラカンデータ^{※1}や「ドラぷら」ルート検索データ^{※2}等から、翌日の0時～24時までの渋滞の有無を1時間毎に予測するアルゴリズムを作成し、期間内の指定日における渋滞を予測していただきます。

対象期間：2024年4月1日～5月6日間の指定日（GW期間含む）

対象路線：関越自動車道・東北自動車道（関東地域）

提出成果：予測モデル（ソースコード、学習済みモデル等）

評価方法：提出された予測と実際の渋滞結果を比較し、定量的に精度賞の対象を選定

副賞：精度賞1位30万円 2位20万円 3位10万円、4～10位5万円
モデリング賞10万円×2名（精度賞受賞者を対象に予測モデルの定性評価）

提供データ：トラカンデータ、ドラぷらルート検索データ、ルート検索補助プログラム、観測日時、渋滞状況、高速道路の各区間情報（マスターデータ）。各データはコンテストサイトにて提供。
提供対象期間は2021年4月8日～2023年7月31日

※1 トラフィックカウンターによって計測される速度や交通量のデータ。首都圏近郊では概ね2km間隔で設置しており、車の走行速度から高速道路が渋滞しているかどうかを判別しています。

※2 NEXCO東日本HP [ドラぷら](#)で、お客さまが出発・到着インターチェンジを選んで高速料金・ルートの検索のデータです。

【参考】第1回渋滞予測チャレンジコンテストとの主な相違点

第1回コンテスト入賞者が作成した予測モデルを使用し、対象路線や時期を変更して分析すると予測精度が低下したことから、以下の通り変更。

	第1回	第2回
開催部門と 応募件数	モデリング部門（163件） アイデア部門（23件）	モデリング部門
予測対象路線	関越自動車道（全線） 館山自動車道（全線）	関越自動車道（関東地域） 東北自動車道（関東地域）
副賞	賞金総額 140万円 モデリング部門総額 100万円 アイデア部門総額 40万円	賞金総額 115万円 モデリング部門総額 115万円
提供データ	<ul style="list-style-type: none"> ・トラカンデータ 79箇所（各IC間に1箇所） ・ドラぷらルート検索データ ・観測日時、渋滞状況、高速道路の各区分情報（マスターデータ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラカンデータ 286箇所（IC間で複数箇所） ・ドラぷらルート検索データ ・ルート検索補助プログラム ・観測日時、渋滞状況、高速道路の各区分情報（マスターデータ）

※このほか、第1回の入賞者の予測モデルを公開することで、更なる渋滞予測精度の向上を図ります。